

2016年度 防災教育チャレンジプラン・最終報告会

中学校が小学校や地域と協働する 防災教育活動プラン



(No6) 仙台市立郡山中学校

1 中学生が地域・小学校と協働する防災教育のねらい

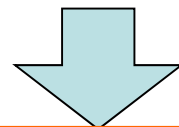
目標

副都心再開発と核家族化が進み、中学生と住民の絆が懸念される地域において、**地域防災力を高める**。

- 災害時の**自助・共助の方法**を学ぶ
- 防災意識**と**災害対策・対応力**を高める
- 防災・減災行動**と**防災対応能力**を身に付ける

方略

中学生が核となる**防災教育活動**に取り組み
地域住民を巻き込む活動に発展させ、
小・中学校と住民の協働体制に進化を図る



目的

地域の人々との「関わり」・「つながり」を継続・拡充し、
防災・減災に強い、安全・安心で、持続可能な
強靱な地域社会づくりと、その担い手の育成を推進

2 防災学習の計画概要(平成28年度)

実践のねらい	教 育 実 践	時 期
①震災と教訓を学ぶ ②復興を知る、支援する	- 生徒が被災地視察と復興支援 被災した農家や中学校と交流 - 視察・支援等の報告	9 月
③防災・減災の知識、 スキル、行動を習得する	- 生徒が地域と市民センターが行う 防災訓練を支援 - 生徒が主導する地域防災訓練 - 防災教育シンポジウムを開催	1 0 月 1 1 月
④教育成果を発信する	ユネスコ・スクール東北大会等で発表 各種大会にて実践発表、資料公表	1 1 月 1 2 月
⑤学習実践を評価する 自己・外部評価、 第三者評価	- PDCAによる自己・外部評価 - 防災教育チャレンジプラン等で 報告と講評	1 月 2 月

メインプラン

3-1 毎年度初めに、校庭へ避難訓練

実施日：H28. 4. 27



3-2 18地区に別れて 集団下校訓練

18地区ごとに集団下校 H28. 7. 1



4－1 津波被災農家の講演、被災地支援・視察

(1) 津波被災農家の講演： 平成28年9月1日・開催

- ・大震災の状況
 - ・農業復興と心の変容
 - ・未来に向けた決意
- など、1・2年生に講演



(2) 被災地支援と視察・交流： 平成28年9月13日・実施

	1年生（約200人）	2年生（約200人）
訪問地	仙台市若林区荒浜（仙台市沿岸部）	亘理町荒浜・山元町（県南沿岸部）
活動内容	○津波被災小学校：荒浜小学校 ○農家が荒浜地域・慰霊塔を案内 ○津波被災農地にて除草作業 ○農家との交流	○津波被災小学校：中浜小学校 ○語り部が講話と荒浜地区を案内 ○高床式の荒浜中学校を見学 ○荒浜中学校との生徒間交流

4-2 津波被災農家の講演、被災地支援・視察 1年生⇒津波被災地視察と被災農家の支援



被災地
を巡り、
慰霊塔
で祈り



被災農
家で
綿花畑
の除草



4-3 津波被災農家の講演、被災地支援・視察 2年生⇒ 津波被災地視察と被災校交流



語り部さん
のガイドと
津波被災
の小学校
見学



津波被災
の中学校
と交流し、
人文字
づくり



ガンバロウ

4－4 津波被災農家の講演、被災地支援・視察 〈アンケート調査結果〉

	調 査 内 容	学年	大いに	まあまあ
1	大震災のマスコミ報道を受けて、大変なことが起きていることを感じる。	1年	85. 6	13. 1
		2年	90. 5	7. 9
2	被災地を実際に視察して、被災地の復旧・復興に、自分の力を活かしたいと思う。	1年	39. 9	47. 5
		2年	39. 7	39. 7
3	被災地のために、何ができるか考えたいと思う。	1年	41. 9	40. 6
		2年	43. 7	36. 5
4	今回の活動を通じて、このようなボランティア・交流は必要であると感じた。	1年	65. 6	25. 6
		2年	60. 0	28. 0
5	今回の活動を通じて、どんな苦難にも立ち向かう勇気と力を感じた。	1年	58. 5	28. 3
		2年	57. 9	27. 8

表記の調査内容では、選択肢“大いに”と“まあまあ”を合わせると8割超え

5 H28年度の防災学習の成果等を公表・発信

(1) 大阪の中学校と交流

- 鶴見橋中の生徒2名・教員2名
- 本校生徒会と互いにプレゼン発表



(2) 東北ユネスコスクール

- 東北各県から約100人参加
- 生徒会プレゼン、2年生36人合唱



(3) ボランティア・スピリット賞で北海道・東北ブロック賞



ブロック大会
⇒札幌市
&
全国大会
⇒東京

6 地域組織や行政、小学校との協働・連携

(1) 地域組織と行政等との防災会議

① 協議内容

- ・仙台市避難所運営マニュアルの改訂
- ・中学生が主導する住民参加型の地域防災訓練の検討・協議など

② 参加者： 町内会長、市・区行政、 民生児童委員、婦人防火クラブ、 体育振興会、日赤奉仕団 など



(2) 小・中学校の連携推進のための合同教員研修会

- ① 本校中学校区の3小学校の全教員参加
- ② 全体会：防災教育や生徒指導の研修
- ③ 分科会：学力向上、現職研修、生徒指導
特別活動・特別支援教育



平成28年度 中学生が主導する地域防災訓練



実施日 11月19(土) 9:00
本校に消防署・特殊車両が到着

H28 集団避難訓練の様子



本校の校庭に
続々と
避難者が集合

【参加者総数】1,165人以上
中学生584、小学生215
住民262、
保護者や関係者104人以上



7 中学生が主導する地域防災訓練[1]

実施日 平成28年11月19日(土)

生徒の役割分担

〈5班編成〉

- ①避難所設営・運営班
- ②集団避難・誘導班
- ③炊き出し調理班
- ④保健・救急救護班
- ⑤取材報道班

☆災害対策本部
[生徒会・役員も担当]

郡山中・学校支援組織 コンソーシアム 「あすと郡山」

〈支援担当の団体等〉

- 民生委員会・社明委員
- 交通指導隊・消防団
- PTA、日赤奉仕団
- 老人会、社会福祉協議会
- 町内会長・育成委員会

組織外からも支援

■市教委・大学など

生徒の班活動を、組織が分担支援

7 H28・中学生が主導する地域防災訓練の概要[3]

時刻	実施概要	生徒の活動	住民の動向
8:15	地震発生	一時避難所へ	○集団避難訓練
8:30	一時避難・誘導	集団避難訓練	・地区毎に集合
9:00	避難所開設・運営	(郡小・東長小・公園)	・生徒が誘導して 避難所へ移動
10:00	コース別・学習 A 消防署 B 国交省 C 備蓄展示	<班毎に活動> ・避難所の運営 ・炊き出し調理 ・救急救護 ・避難誘導 ・取材報道	○避難所・体験
10:30			○コース別学習 に参加・視聴
11:40	炊き出し試食		町内会長と生徒会は、 災害対策本部【体育館ステージ】
13:30	防災教育 シンポジウム	①講演「大震災から何を学ぶのか」 講師 東北大学地震・噴火予知研究観測センター海野氏	
16:00	生徒会が 運営・実施	②生徒による班活動・報告と成果等の発表 ③総括講評:(仙台市教育委員会)	

8 H27・28・中学生が主導する地域防災訓練の概要[1]

班ごとの活動の様子①

(1) 避難所設営・運営班



受付・相談の対応



避難した住民216人

(3) 集団避難・誘導班



一時避難所から
集団避難



学校での避難誘導

(2) 炊き出し調理班



生徒40人が
炊き出し調理

炊き出しの
配給



生徒と参加者
が試食
生徒分を含め
800食を提供



8 H27・28・中学生が主導する地域防災訓練の概要[2]

班ごとの活動の様子②

(4) 救急・救護班



救護ブースで止血訓練



心肺蘇生の訓練

(6) 災害対策本部(生徒会)



本部の町内会長



本部での生徒会

(5) 取材報道班



避難所にて、
情報収集

取材記事を
作成し、午
後に号外・
新聞を配布



8 H27・28・中学生が主導する地域防災訓練の概要[3]

【 3つのコース別学習の様子 】

(1) 国交省の水害の講演



過去の水害や治水対策を生徒・住民が視聴

(2) 備蓄物資の展示説明



仮設トイレの組立



生徒が備蓄品説明

(3) 消防署の展示・実演



特殊装備車・
救急車・梯子
車の展示説明

濃煙体験



梯子車で4F
から救助を
実演体験



8 H27・28・中学生が主催する防災教育シンポジウム[4]

(1) 講演：東北大の海野教授

大震災から何を学ぶのか～災害から命を守る



海野先生が講演



生徒・住民が視聴

(2) 活動報告

H27



各班が活動報告

(3) 生徒の質疑と講評



生徒の質疑応答



仙台市教委が講評

H28



報道班が取材報告

8 H27・28中学生が主導する地域防災訓練とシンポ[5]

アンケート結果：4件尺度法で選択肢“大いに”の割合(%)表記

	[H27⇒H28]	中3	住民
①学校と地域が一緒に訓練は必要	80.4⇒90.9	86.4⇒68.0	
②生徒主導の訓練は地域防災に貢献	78.6⇒92.0	81.8⇒65.4	
③地域防災訓練等の防災教育は大切	83.9⇒89.1	90.9⇒87.5	
④人を助け、支え合っていきたい	79.9⇒88.5	住民の要求水準と期待感の向上が要因？	
⑤苦難を乗り越える努力をしていく	68.8⇒81.0		
⑥夢や希望を持ち続け、頑張りたい	79.9⇒82.2		

住民の要求水準と期待感の向上が要因？

- ・学校と地域が一緒に訓練の必要性、中学生の地域貢献、防災教育の重要性 → 中3は向上・ほぼ9割、住民は低下
- ・「助け支え合う思いやり」「苦難に向かう努力の大切さ」「夢や希望に向けての頑張り」 → 心に響く刺激や感動、意欲を享受
H27より向上し、8割越えの成果

8 H27・H28中学生が主導する地域防災訓練とシンポ[6]

アンケート調査の相関分析・・・中3の変容

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	NO7	NO8	NO9	NO10	NO11	NO12	NO13	NO14	NO15	NO16	NO17
NO1		0.533	0.53	0.39	0.353	0.69	0.475	0.448	0.48	0.346	0.481	0.54	0.365	0.413	0.42	0.62	0.309
NO2			0.424	0.33	0.372	0.52	0.318	0.412	0.48	0.192	0.499	0.5	0.244	0.271	0.34	0.48	0.188
NO3				0.398	0.293	0.55	0.541	0.456	0.49	0.35	0.529	0.48	0.357	0.384	0.49	0.55	0.35
NO4					0.181	0.35	0.292	0.263	0.38	0.191	0.417	0.32	0.419	0.314	0.15	0.4	0.262
NO5						0.49	0.252	0.271	0.33	0.287	0.313	0.29	0.235	0.14	0.23	0.19	0.248
NO6							0.415	0.378	0.55	0.44	0.55	0.47	0.332	0.348	0.38	0.54	0.374
NO7								0.622	0.35	0.334	0.4	0.45	0.437	0.355	0.54	0.51	0.395
NO8									0.46	0.37	0.402	0.46	0.395	0.418	0.51	0.54	0.454
NO9										0.404	0.495	0.46	0.368	0.371	0.34	0.43	0.422
NO10											0.249	0.37	0.396	0.387	0.35	0.36	0.401
NO11												0.68	0.5	0.365	0.41	0.52	0.327
NO12													0.632	0.473	0.5	0.52	0.323
NO13														0.538	0.37	0.38	0.452
NO14															0.46	0.48	0.556
NO15																0.67	0.496
NO16																	0.587
NO17																	

中3の変容

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	NO7	NO8	NO9	NO10	NO11	NO12	NO13	NO14	NO15	NO16	NO17
NO1		0.51	0.64	0.63	0.72	0.71	0.39	0.49	0.62	0.33	0.47	0.37	0.62	0.53	0.37	0.45	0.54
NO2			0.48	0.35	0.58	0.54	0.26	0.39	0.54	0.44	0.40	0.36	0.46	0.43	0.29	0.42	0.34
NO3				0.65	0.73	0.69	0.49	0.60	0.56	0.47	0.53	0.51	0.52	0.56	0.51	0.60	0.54
NO4					0.64	0.58	0.40	0.53	0.58	0.27	0.34	0.35	0.40	0.42	0.27	0.33	0.39
NO5						0.70	0.47	0.56	0.58	0.30	0.39	0.39	0.48	0.48	0.38	0.40	0.46
NO6							0.49	0.48	0.49	0.42	0.45	0.56	0.62	0.61	0.47	0.50	0.44
NO7								0.65	0.36	0.24	0.34	0.37	0.36	0.41	0.34	0.34	0.26
NO8									0.52	0.39	0.42	0.39	0.39	0.51	0.44	0.46	0.42
NO9										0.32	0.45	0.48	0.48	0.49	0.33	0.40	0.41
NO10											0.55	0.50	0.34	0.50	0.57	0.64	0.35
NO11												0.65	0.45	0.62	0.53	0.55	0.52
NO12													0.56	0.65	0.48	0.44	0.39
NO13														0.57	0.43	0.38	0.53
NO14															0.66	0.51	0.60
NO15																0.69	0.57
NO16																	0.56
NO17																	

地域防災訓練における成果や協力の必要性、そして人を助け・支え合うことが、他の全ての項目と相関

⇒ 確かな訓練成果と心の育成効果につながり

8 企業や財団、保護者等の連携・援助・支援[7]

(1) 地元燃料店と財団援助

地元の
燃料店
の援助



ガスコンロ
や大鍋の
購入援助

(2) 保護者の協力支援

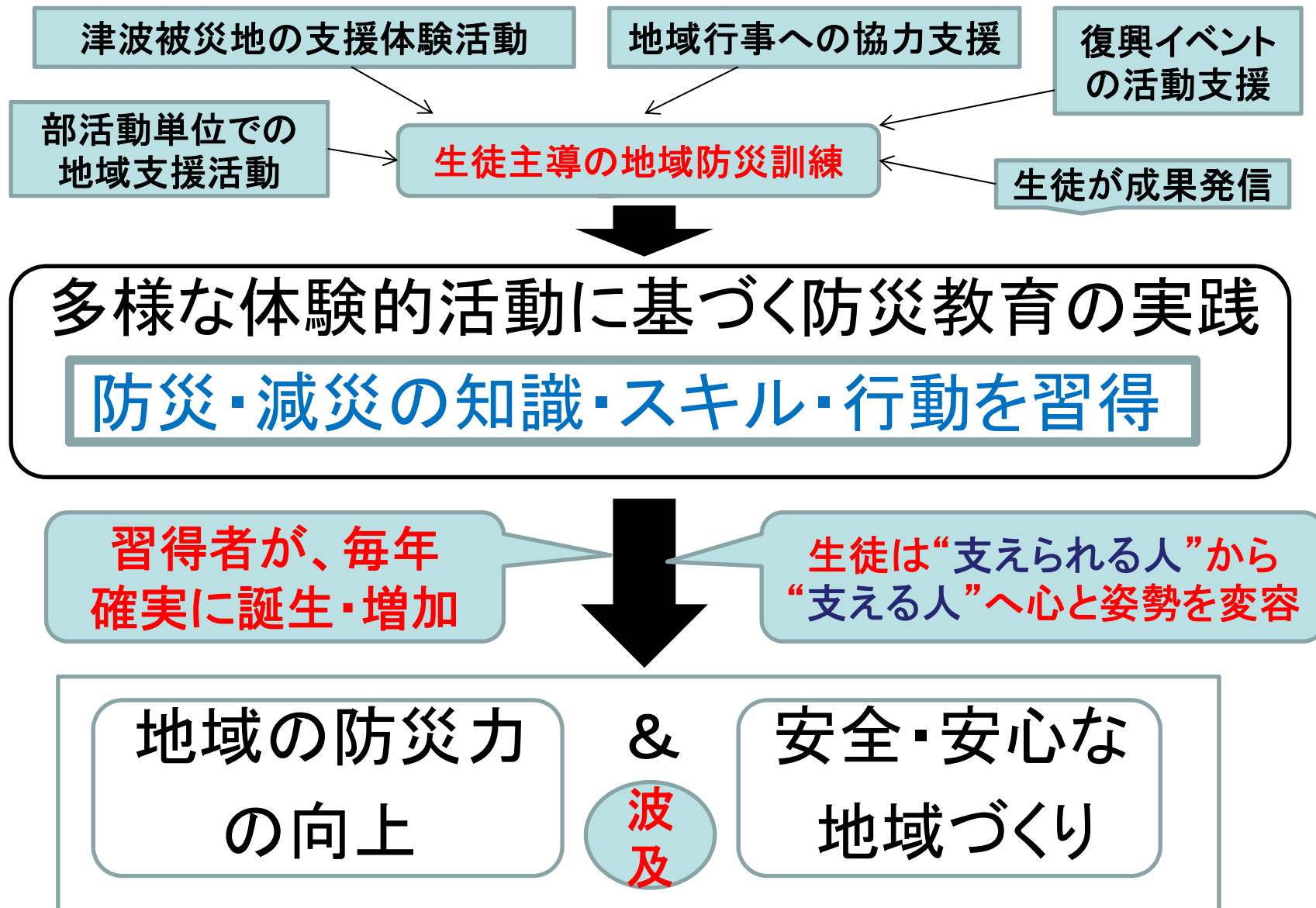
炊き出しの豚汁調理を支援



(3) 学校・生協との連携による炊き出し食材の搬入訓練



9 プランの期待される成果・効果【1】



9 プランの期待される成果・効果【2】

地域の防災力向上 & 安全・安心な地域づくり

学校と地域の共通目標

目標の達成度を高めるため ↓ 学校が地域を巻き込む協働体制

学校が地域組織と連携・協働する体制構築

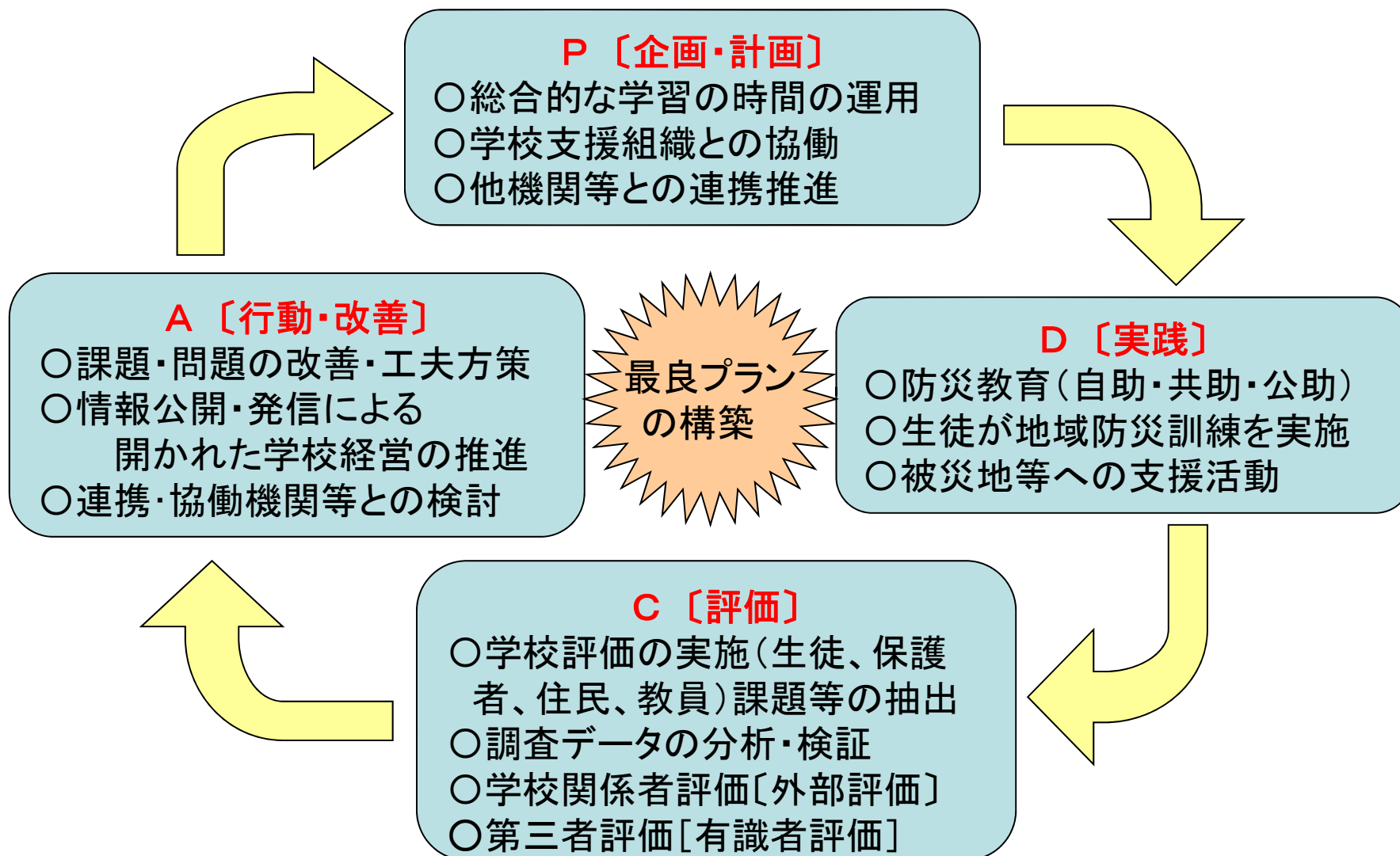
- 双方向の支援体制 【 学校 ↔ 地域 】
- 町内会・婦人会など多彩な地域組織が参画

防災教育を中学生と住民が共に学ぶ取組展開

- ① 両者の関わりとつながりを深める取組 → 絆づくりに寄与
- ② 組織体制による教育実践が継続性と推進力を向上
- ③ 地域特性に応じた防災・減災文化の構築の可能性

10 PDCAによる検証・改善

<より優れたプランに向けた改良のサイクル>



最後に〈東日本大震災を鑑みた防災教育の方略〉

①**支援の輪**が広がることを願い

復興支援による交流活動の拡充と成果の広報

②地域の**防災・減災文化の構築**を目指し

中学生が主導する地域防災訓練の継続と拡充

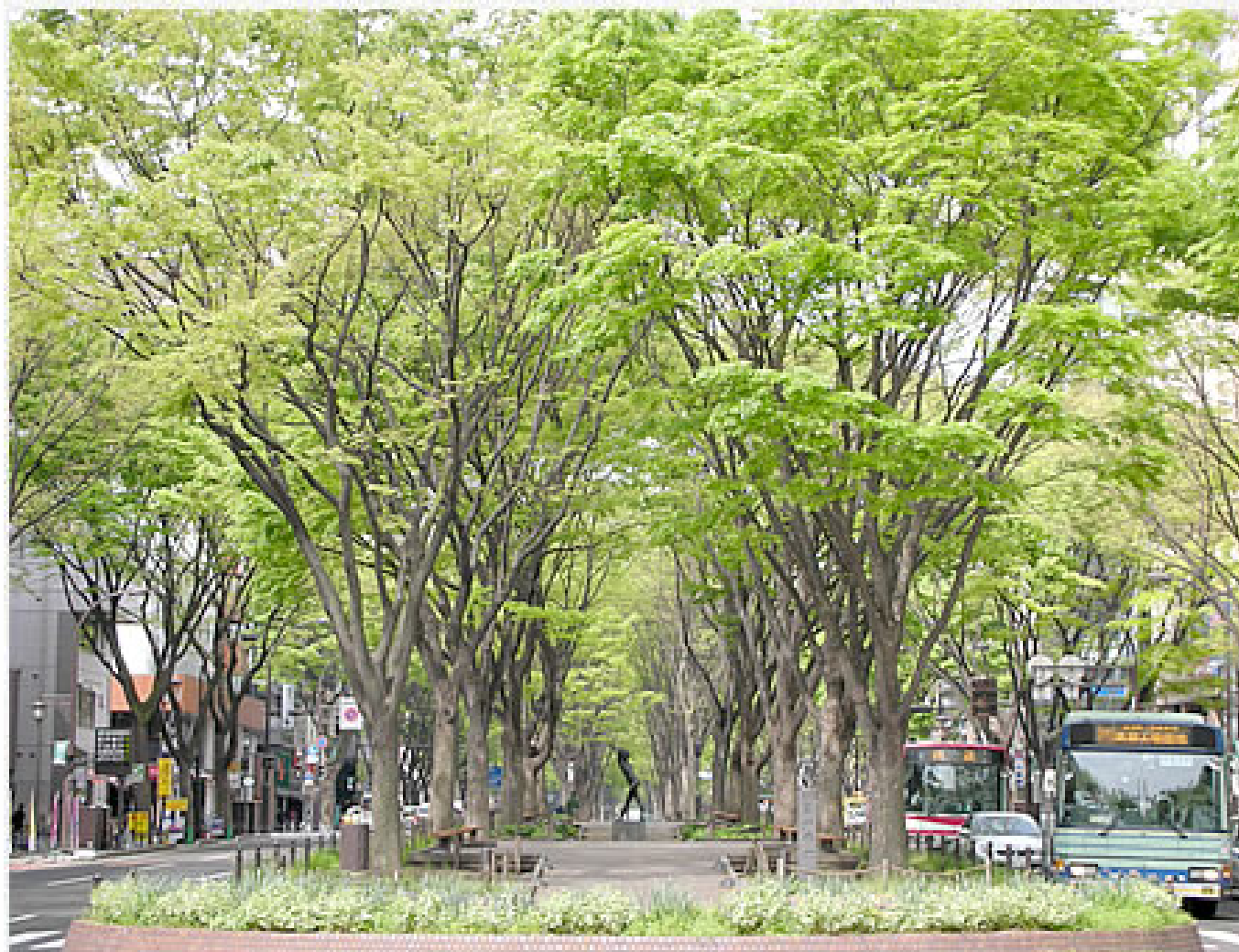
③大震災の**教訓を受け継ぐ取組(もの・こと・ひと)**として

中学生と住民がともに学ぶ防災教育を創出

④地域・学校単位の**防災教育を拡充・発展**するため、

地域防災教育・研究会の創設を図る

義務教育と中学生には、大震災を風化させない“**使命**”と“**力**”がある。未来を担う中学生のために、防災教育を全ての学校が必修化することを願う。



2007年5月7日 定禅寺通

ご清聴ありがとうございました。

仙台市立郡山中学校